

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公表番号】特表 2021-501510 (P2021-501510A)

【公表日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2021-002

【出願番号】特願 2020-522689 (P2020-522689)

【国際特許分類】

H 0 4 W 74/00 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 74/00

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 3 日 (2021.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ機器 (UE) によって実行されるワイヤレス通信の方法であって、
基地局 (BS) から残りの最小システム情報 (RMSI) を受信するステップと、
初期アクティブアップリンク帯域幅部分の物理リソースブロック (PRB) 周波数ロケーション
に少なくとも部分的に基づいて初期アクティブアップリンク帯域幅部分を決定するス
テップであって、前記 PRB 周波数ロケーションが前記 RMSI 内に示され、前記初期アクティ
ブアップリンク帯域幅部分の前記 PRB 周波数ロケーションを識別するステップが、

前記 RMSI 内に含まれる、ランダムアクセスチャネル (RACH) 手順の RACH 構成内の複数の
基準アップリンク周波数ロケーションを識別するステップと、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分の前記 PRB 周波数ロケーションとして、
前記複数の基準アップリンク周波数ロケーションから基準アップリンク周波数ロケーシ
ョンを選択するステップとを備える、ステップと、

前記 UE と前記 BS との間の RACH 手順のために前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分
を使用するステップと
を備える方法。

【請求項 2】

ユーザ機器 (UE) によって実行されるワイヤレス通信の方法であって、
基地局 (BS) から受信した最小システム情報 (RMSI) に基づいて、初期アクティブアップリ
ンク帯域幅部分の物理リソースブロック (PRB) 周波数ロケーションを識別するステップで
あって、前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分が、前記 BS と前記 UE との間のランダ
ムアクセスチャネル (RACH) 手順のために使用されるべきであり、前記初期アクティブアッ
プリリンク帯域幅部分の前記 PRB 周波数ロケーションを識別するステップが、

前記 RMSI 内に含まれる、前記 RACH 手順の RACH 構成内の複数の基準アップリンク周波数
ロケーションを識別するステップと、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分の前記 PRB 周波数ロケーションを識別す
るために、前記複数の基準アップリンク周波数ロケーションから基準アップリンク周波数

ロケーションを選択するステップとを備える、ステップと、

前記UEと前記BSとの間の前記RACH手順のための初期アクティブアップリンク帯域幅部分
の前記PRBに少なくとも部分的に基づいて確立されたアップリンクPRBグリッドを使用する
ステップと

を備える方法。

【請求項 3】

前記複数の基準アップリンク周波数ロケーションから前記基準アップリンク周波数ロケーションを選択するステップが、

前記RACH手順に関連付けられた前記UEの設定に少なくとも部分的に基づいて前記基準アップリンク周波数ロケーションを選択するステップ

を備える、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 4】

前記設定が、

前記UEのパラメータに少なくとも部分的に基づいたマッピングもしくはハッシュ関数、

前記RACH手順の物理ランダムアクセスチャネル(PRACH)送信の同期信号ブロック(SSB)インデックス、または

前記RACH手順の前記PRACH送信のスロットインデックス

のうちの少なくとも1つを備える、請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

前記RMSIが、前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分のヌメロロジーを含み、

前記ヌメロロジーが、

前記RACH手順のためのサブキャリア間隔、

前記RACH手順のためのサイクリックプレフィックス、または

前記RACH手順のためのスロットごとのシンボルの数

のうちの少なくとも1つを備える、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 6】

前記ヌメロロジーが、

前記RACH手順のメッセージ3(Msg.3)送信のための物理アップリンク共有チャネル(PUSCH)のヌメロロジー、または

前記RACH手順のメッセージ4(Msg.4)送信の肯定応答(ACK)のための物理アップリンク制御チャネル(PUCCH)のヌメロロジー

のうちの少なくとも1つに少なくとも部分的に基づく、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

前記RMSIが、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分の帯域幅、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分の基準周波数、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分の前記基準周波数からのオフセット、または

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分のヌメロロジー

のうちの少なくとも1つを含む、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 8】

請求項1～7のいずれか一項に記載の方法を実行するための手段を備えるユーザ機器。

【請求項 9】

基地局(BS)によって実行されるワイヤレス通信の方法であって、

ユーザ機器(UE)に、残りの最小システム情報(RMSI)内のランダムアクセスチャネル(RACH)構成を送信するステップであって、

前記RACH構成が、前記UEのための初期アクティブアップリンク帯域幅部分を確立するために使用されるべきであり、

前記RACH構成が、複数の基準アップリンク周波数ロケーションについての情報を含み

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分が、前記PRB周波数ロケーションとして、前記複数の基準アップリンク周波数ロケーションから選択された基準アップリンク周波数ロケーションに少なくとも部分的に基づいて決定される、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分が、前記BSと前記UEとの間のRACH手順のために使用されるべきである、ステップと、

前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分に少なくとも部分的に基づいて前記RACH手順のためのアップリンクPRBグリッドを確立するステップとを備える方法。

【請求項 10】

前記アップリンクPRBグリッドが、前記初期アクティブアップリンク帯域幅部分のヌメロロジーに少なくとも部分的に基づいて確立される、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記ヌメロロジーが、

前記RACH手順のためのサブキャリア間隔、

前記RACH手順のためのサイクリックプレフィックス、または

前記RACH手順のためのスロットごとのシンボルの数

のうちの少なくとも1つを示す、請求項10に記載の方法。

【請求項 12】

前記ヌメロロジーが、

前記RACH手順のメッセージ3(Msg.3)送信のための物理アップリンク共有チャネル(PUSCH)のヌメロロジー、または

前記RACH手順のメッセージ4(Msg.4)送信の肯定応答(ACK)のための物理アップリンク制御チャネル(PUCCH)のヌメロロジー

のうちの少なくとも1つに少なくとも部分的に基づく、請求項10に記載の方法。

【請求項 13】

前記基準アップリンク周波数ロケーションが前記UEの設定に少なくとも部分的に基づいて選択される、請求項9に記載の方法。

【請求項 14】

請求項9～13のいずれか一項に記載の方法を実行するための手段を備えた基地局(BS)。

【請求項 15】

コンピュータによるプログラムの実行時に、請求項1～7あるいは請求項9～13のいずれか一項に記載の方法を前記コンピュータに実行させる命令を備えたコンピュータプログラム。